

第19回 ITS世界会議 ウィーン2012



19th **ITS World Congress**
Vienna, Austria
22 to 26 October **2012**
smarter on the way



第19回 ITS世界会議ウィーン2012

開催期間:10月22日(月)~10月26日(金)

会場:オーストリア ウィーン

会議テーマ:「Smarter on the way」
「よりスマートな移動を目指して」

参加国数:91カ国

参加者数:9,952人(公表は約10,000人)

会議登録者数:約3,000人

(日本504人、オーストリア314人)

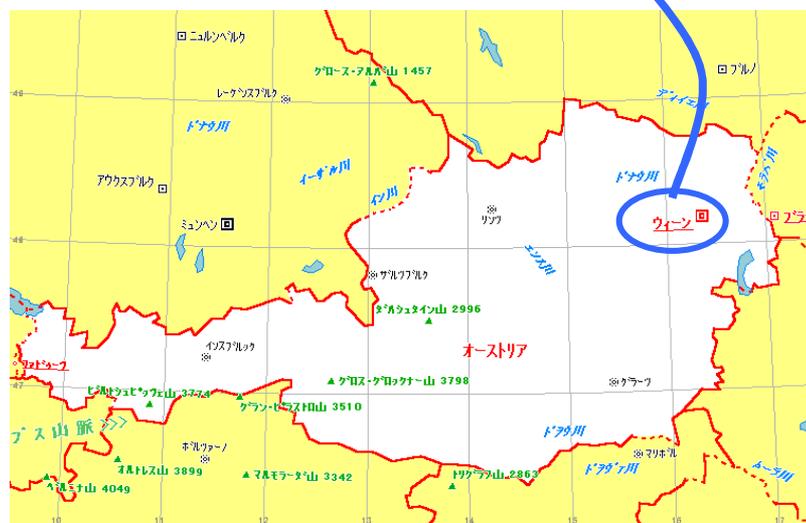
出展企業・団体数:345

(オランダ236、釜山:213)

日本の出展:24団体

(オランダ26、釜山:50)

セッション数:224(オランダ231、釜山223)



過去のITS世界会議参加動向

	2004 名古屋	2005 サンフランシスコ	2006 ロンドン	2007 北京	2008 ニューヨーク	2009 ストックホルム	2010 釜山	2011 オーランド	2012 ウィーン
参加国数	53ヶ国	55ヶ国	55ヶ国	46ヶ国	66ヶ国	64ヶ国	84ヶ国	65ヶ国	91ヶ国
会議 参加者数	5,794 人	7,130人	約3,000 人	約3,000 人	8,000人	2,801人	約4,300 人	8,000 人	(会議登録 約3,000人) 9,952人 (公表は約 10,000人)
展示会 来場者数	61,394 人		約7,000 人	約40,000 人		約6,250人	約38,700 人		
出展数	250団 体	123団体	243団体	163団 体	307団体	254団体	213団体	236団体	345団体

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 オープニングセレモニー



開会挨拶



第19回 ITS世界会議ウィーン2012 オープニング



展示会場テープカット

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 日本ブース



テープカット



日本ブース全景

- ・日本ブース
昨年と同様に、仕切りを少なくした開放感のあるブース。
- ・展示全体
今年の展示の特徴は、各国のITS団体が多く、
広いブースで出展している企業はメインスポンサーと日本企業。

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ミニシンポジウム発表者



第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ミニシンポジウム、東京大会イベント



第19回 ITS世界会議ウィーン2012

セッション概要

今年のITS世界会議のセッションは、協調システム、自動運転、道路課金の分野に多くの聴講者がいた。特に欧州統一課金(EETS)のセッションでは約100名の参加者があり、立ち見となっていた。



道路課金(EETS)のセッション風景

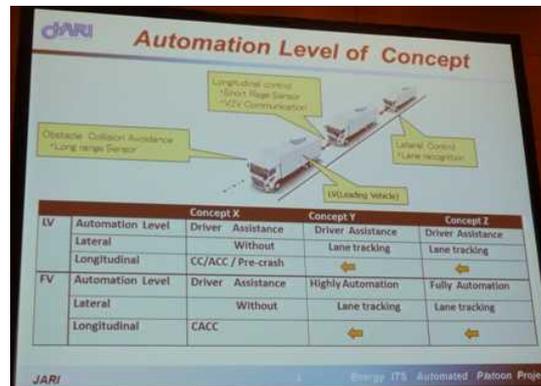
第19回 ITS世界会議ウィーン2012 セッション概要

自動運転

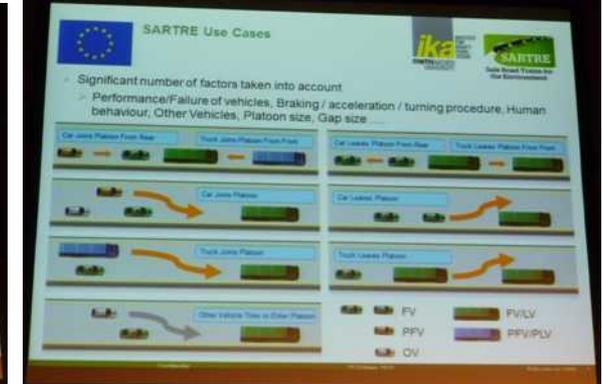
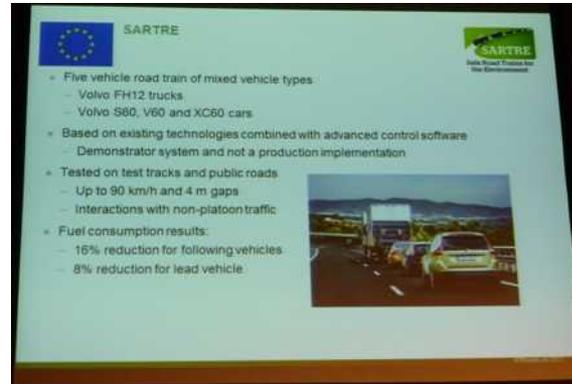
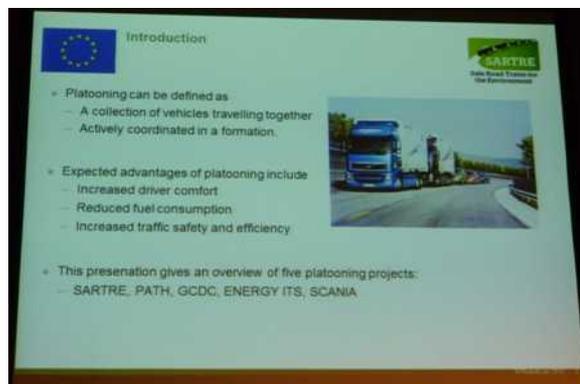
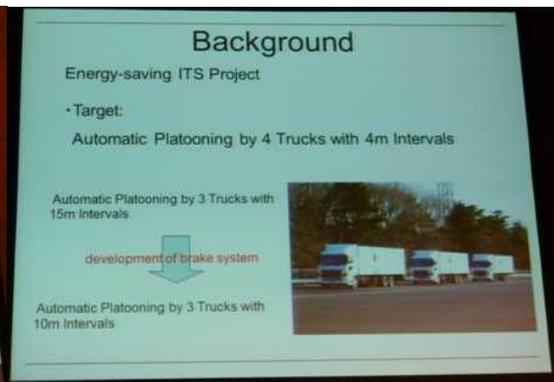
今年のITS世界会議では、道路課金のセッション以外に、自動運転のセッションにも多くの聴講者いた。



トヨタ自動車



JARI エネルギーITS



欧州フレームワークプログラム7のSARTRE (Volvoの隊列走行)

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ショーケース

・ Kapsch路車間通信

文字だけでなく音声でも情報発信
(昨年の米国Kapschとの違い)

5.9GHz



路側機



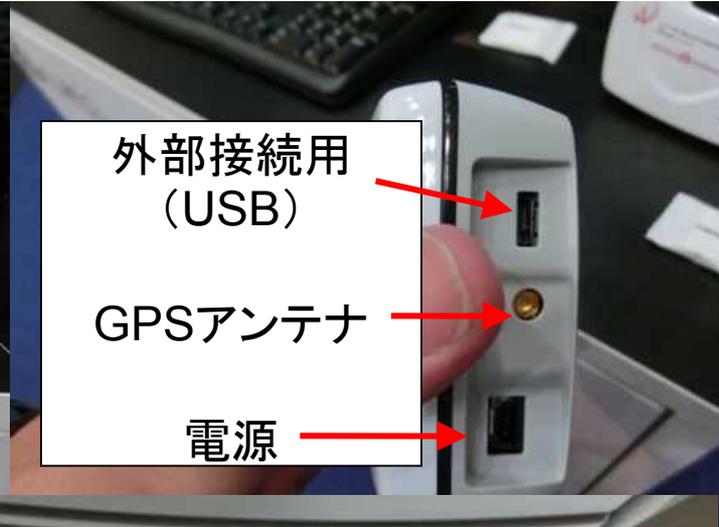
路側機から電波を受信すると車載器の表示が赤く点滅

緑のランプは電源がONの状態

信号機情報

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ショーケース

- ・ Kapschの車載器



価格: 120ユーロ

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ショーケース

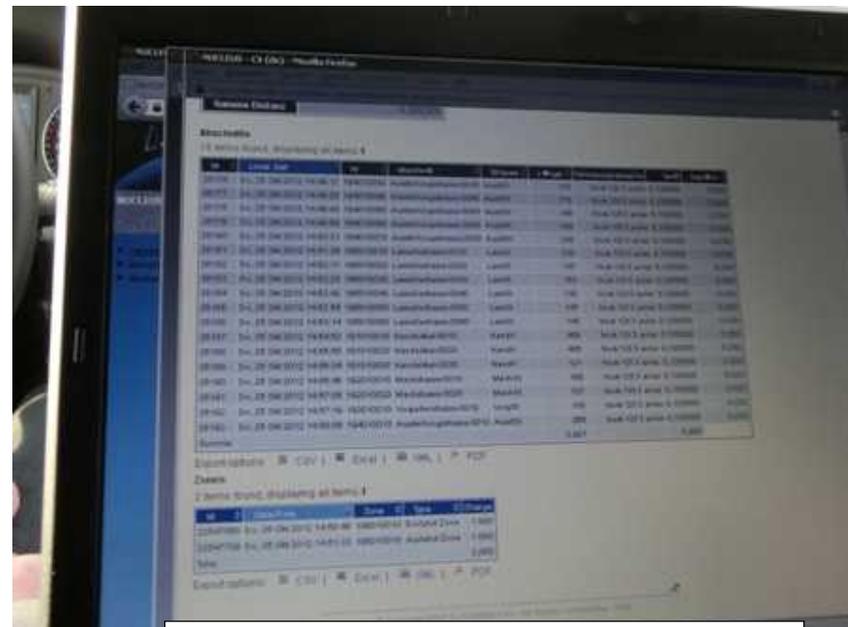
・ SIEMENS道路課金



車載器

電源:シガーソケット

価格:170ユーロ



通信結果

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ショーケース

・EU-US協調システム

欧州車と米国車の車車間通信

欧州の乗用車と米国の乗用車との車車間通信のショーケースは、前方車両（欧州）がブレーキを踏むと、後方車両（米国）のモニターに警報が表示され、実際に走行している車両や体験型ではなく、展示車両による内容であった。

通信器はどちらの車両にもDENSO製が取り付けられていた。

後方車両へ警報が表示されるまでに約1秒の時間差があった。



ブレーキを踏む前



ブレーキを踏んだ後

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ショーケース

・自動ブレーキ



時速40km/h～45km/hで走行すると、障害物の手前で自動ブレーキが作動して停止した。

時速30km/hでは自動ブレーキのシステムが作動せず、障害物にそのまま当たり、停止せずにそのまま走り続けた。

時速50km/hを超えると、自動ブレーキは作動するが、障害物に衝突して停止した。

障害物感知センサー
感知する角度は145度、
感知する距離は約10m手前
人、オートバイも感知するとの
こと

第19回 ITS世界会議ウィーン2012 ショーケース

・自動運転



カメラ

障害物感知センサー

スマートフォンでスタートさせると、車が自動で動き、決められた場所に駐車した。あらかじめ決められたルートしか走行できない。

何度も走行するとルートを外れ、人間が運転して正しい位置にセットした。

第19回ITS世界会議ウィーン2012 クロージングセレモニー



パッシング・ザ・グローブセレモニー
ウィーンから日本へ



東京大会の紹介

今後のITS世界会議予定

2013年 10月14日 ~ 18日	東京
2014年 9月 7日 ~ 11日	デトロイト
2015年 10月 5日 ~ 9日	ボルドー

今年のITS世界会議の特徴

会議全体

- オープニング、クロージングは華やかな演出はなく、関係者のスピーチと演奏
- セッションは協調システム、自動運転、道路課金の聴講者が多い

展示の特徴

- 欧州の企業が多く出展、昨年よりも出展数が増加
- 日本企業の展示では、ディスプレイを使った展示が昨年よりも多い

ショーケース

- 乗用車による路車間通信(5.9GHz)の体験型デモが中心
実際に路車間通信が来ているのは信号情報のみ
- GPSを利用した課金のデモもあり